

中学1年 道徳「本が泣いています」

ねらい

図書館が抱える問題を話し合う中で、公共の精神についての理解を深め、よりよい社会の実現に努めようとする実践意欲と態度を養う。

学習展開（2時間）

- ① 汚破損が見られるなど貸し出しが出来なくなった本を手に取り、図書館で実際に起こっている事態について問題意識を持つ。
- ② 被害に遭った本にも目を向けながら、公共のものや場所を利用する際の心がけについて考え、意見をノートに書く。
- ③ 調べ学習で本を活用する際、どのようなことに気を付けたら良いか、道徳での学びを確認する。
- ④ 実際に調べ学習や朝読書を行う中で、今後も本をどのように扱えばよいか考え、工夫点を挙げさせる。

指導のポイント

・実際に被害に遭った図書館の本を手に取りさせ、生徒が課題を自分事として捉えられるようにした。

・このような状況は日頃の授業ともリンクしていると気付かせるために、調べ学習の際は道徳の掲示物を活用し、既習事項を想起させ本を扱うようにした。



学校図書館との関わり

・授業で活用した本は、授業後も教室展示し、生徒の問題意識が継続するようにした。

・生徒が普段よく読む小説だけではなく、被害に遭った本は雑誌など多岐に渡ることが伝わるよう、本のジャンルを幅広く揃えた。